陸送協会ニュース

第143号
2015年3月
編集・発行者
一般社団法人日本陸送協会事務局
東京都新宿区新宿 1-11-15
電話 03-3356-3977／7922

平成26年度通常総会並びに協会創立50周年記念式典開催される

去る2月19日（木）に品川プリンスホテルに於いて、全国から116会員の皆様に出席して頂き、平成26年度通常総会並びに創立50周年記念式典が開催されました。

平成26年度通常総会

1. 開会のことば

石田副会長より開会の挨拶

本日は、通常総会の後、日頃よりご指導を賜っている国土交通省をはじめ、自動車関係諸団体の代表の方々にご臨席賜り、「50周年記念式典」並びに「祝賀会」を予定しております。最後までお付き合いの程よろしくお願いいたします。

昨年度の自動車産業を振り返ってみますと、２０１４年の新車販売台数は５５６万台（前年比＋３・５％）でまずまずの結果ではなかったかと思います。これは、３年連続の５００万台超えとなっています。特に全体に占める軽自動車比率は税制面の優遇により40％超えになったことが特筆すべきことと思います。

今年に関しましては、軽自動車税の引き上げが予定されている一方、消費税の引き上げが先送りされたこと、また、経済が上向きになっていくのではないかと言った期待感もあるので、劇的に伸びると言うことは難しいかとは思いますが、まずまず堅調に推移していくのではないかと考えております。

私達、陸送事業者は基幹産業である自動車産業の一員としまして、生産と販売を結ぶ大変重要な役割を担っております。お客様のニーズに適切に応える為に陸送業界が取り組む課題は多岐にわたりますが、我々業界の継続的な発展に向け一歩ずつ着実に活動して、今後とも進めて参りたいと思います。

当協会のこの1年間の活動を振り返ってみますと、特に本部役員、支部役員そして会員の皆様方とのコミュニケーションを大切にして、様々なご意見を頂き、「短・中期の活動計画」を策定するなどして諸課題に取り組んでまいりました。

具体的には、国土交通省後援の「教育・認定制度」の推進、「陸送事業概況調査」を通じた陸送事業の経営実態の把握、ＥＴＣ装置が装着できない自走車に関する高速料金割引の適用、積載車における積み降ろし作業時の安全確保に向けた取り組み、業界会員の皆様方のコンプライアンス体制の確立、等に注力してきた1年であったかと思います。

これまで様々な活動をして参りましたが、まだまだそれは活動に入ったに過ぎず、結果を出していくのはこれからで御座います。

粘り強く活動をし、会員の皆様が「陸送協会に加入していて良かった」と喜んで頂ける様な協会でありたいと考えております。

そして、今年の陸送協会は50周年という大きな節目を迎えたわけですが、更にこの先50年、１００年と歩みを続け、陸送協会のさらなる発展に向けみなさまと一丸となって努力をして参りたいと思います。

この後の総会におきましては、新年度の事業計画、収支予算、さらに役員の改選についてご審議頂くことになっております。

会員の皆様におかれましては、今後とも、日本陸送協会の活動に対して一層のご理解ご支援、ご協力を賜りますことをお願い申し上げ、冒頭の私の挨拶とさせて頂きます。

2. 佐々木会長の挨拶

年度末の大変お忙しい中、多くの方々にご出席を頂き誠にありがとうございます。

また、日頃は当協会の活動に対しまして、多大なご理解ご協力を頂いておりますことを、改めて御礼を申し上げます。

先程、石田副会長よりご紹介がありましたように、当協会は昭和40年に社団法人として設立され、皆様の支えをもって今年で50周年という記念すべき年を迎えることが出来ました。

3. 議長選出

佐々木会長に議長の選出が一任され、定款第15条の規定により青木副会長が議長に選出された。

4. 開会宣言及び議事録署名人の指名

（1）議長から定款第18条の1項の規定で定める総会の定足数について、会員総数715会員（うち正会員532会員）、本日の出席者116会員（うち正会員95会員）、委任状提出者309会員で、正会員出席者数、委任状提出者数の合計が404会員となり、正会員総数の過半数を超え、定款第18条の定めにより本日の総会が成立する旨報告。

（2）定款第19条2項の定めにより議事録署名に磯部芳治氏及び手塚俊雄氏が指名。

5. 議案審議

◆第1号議案◆

（1）平成26年度事業報告
資料に基づき寺門専務理事より事業活動の報告

（2）平成26年度決算報告
資料に基づき寺門専務理事より決算の報告

（3）平成26年度会計監査報告
田村監事より会計監査を平成27年1月30日（金）実施し、適切に処理されている旨の報告。

議長は、第1号議案の議決について諮ったところ、平成26年度事業報告、平成26年度決算報告、会計監査報告は原案通り満場異議なく承認。

◆第2号議案◆

（1）役員の改選
議長は、任期満了に伴い役員の改選が行われる旨報告。
退任理事7名・監事1名を紹介。
・佐々木　良一　理事
・石田　定雄　理事
・遠藤　健嗣　理事
・須藤　敏文　理事
・伊勢谷　正男　理事
・末永　浩毅　理事
・故　針生　忠二　理事
・田村　慎一　監事

（2）新役員紹介
新任理事7名・監事1名を紹介
・板坂　克則　理事
・甲田　良憲　理事
・横井　英雄　理事
・三浦　麗子　理事
・加藤　敦子　理事
・石田　俊彦　理事
・鶴　雅之　理事
・細谷　貞治　監事

議長より、理事・監事候補者名簿（案）の承認について諮ったところ、異議無く原案通り承認。

（3）新会長、副会長、専務理事の紹介
議長より、定款第13条第2項により、会長、副会長、専務理事の選任は理事の互選となる旨報告があり5分間の協議時間をとり、下記の通り選任。

会長　永井　高志
副会長　水野　功
〃　岩下　世志
〃　青木　信幸
〃　仁丹　基介
〃　板坂　克則
専務理事　寺門　巳知男

◆第3号議案◆

（1）平成27年度事業計画（案）
資料に基づき寺門専務理事より事業計画（案）の説明。

（2）平成27年度収支予算（案）
資料に基づき寺門専務理事より収支予算（案）の説明。

議長は、第3号議案の平成27年度事業計画（案）、平成27年度収支予算（案）についての議決について諮ったところ、満場異議なく原案通り承認。

議長は、以上を持って本総会提出議案のすべてを審議頂き原案通り可決したことを報告し、全会員の協力に感謝して降壇した。

6. 退任役員及び相談役・顧問へ感謝状並びに記念品贈呈

永井新会長より、退任理事、監事、相談役、顧問の皆様へ感謝状及び記念品が贈呈された。

佐々木良一殿、石田定雄殿、伊勢谷正男殿、末永浩毅殿、佐瀬陽次殿、須藤敏文殿、田村慎一殿、故　針生忠二殿（代理針生謙一郎殿）亀岡兵太郎殿、小川徳男殿

◆退任役員代表挨拶◆

役員退任者を代表して、佐々木前会長より挨拶。

7. 閉会のことば

仁丹副会長より、閉会の挨拶。

創立50周年記念式典

1. 開会のことば

水野副会長より、開会の挨拶。

2. 永井新会長挨拶

本日の、理事会、通常総会にて皆様の決議を賜り前会長の佐々木様の後任として日本陸送協会会長を拝命致しました永井高志で御座います。

本日は、大変お忙しい中私共の日本陸送協会創立50周年記念式典、及び祝賀会にこのように多くの方々にご出席を頂き、誠に有難うございます。

また、会員、自動車関連業界の皆様方に加え、日頃から我々陸送協会活動にご理解を頂いて降ります、国土交通省の皆様にも多数ご参加頂き熱く御礼を申し上げます。

協会設立時には８１２万台であった日本の自動車保有台数も、現在では８０００万台を超えています。こうした日本のモータリゼーションの進展が自動車産業の発展を支えるような形で、その物流を担ってきたのが協会加盟の会員企業の皆様でした。

本日ここにお越し頂いた皆様と、創立50周年という大変記念すべき式典をもてますことは身に余る光栄であり、一方でその重大な使命と責任を痛感しているしだいで御座います。

さて、日本陸送協会は昭和35年に日本自動車陸送業経営者懇談会として発足し、昭和40年に現在の日本陸送協会として新たに誕生致しました。

設立時には82社であった会員も、今では７１４社となり５５００車両、１５０００名のドライバーと実に10倍もの組織へと躍進を遂げております。

これまでに多くの施策実行してまいりましたが、特に「教育・認定制度」につきましては、国土交通省様から後援を頂き全国でのべ４３２名の認定者が誕生しています。

公道を職場とする我々にとっては、教育制度の充実はすなわち業界のレベルアップにつながり社会的責任を果たすもので御座います。これは業界の地位の向上にも寄与するものだと私は確信をしております。

現在、国内の経済は昨年末におこなわれました衆院選が与党の圧勝に終わったこともあり、政権は今後景気回復策や株高政策をアベノミクスの第二幕として一段と押し進めることとなります。

一方、２０１４年の国内新車販売台数に目を向けますと、前年比では３・５％増の５５６万台であるものの、４月以降の期で見れば消費税増税の反動により前期比３％減となっております。新車の需要は我々自動車産業にとっての大きなファクターです、しかしながらこれは消費税や自動車諸税の変革、少子高齢化等による需要環境の変化、商品展開などに大きく変化される可能性もあり、今年も激動の年になるであろうと思われます。

日本の物作りの代表である自動車産業は日本経済の中核を担っており、生産と販売を結ぶ我々陸送事業者は、その自動車産業を支える非常に重要な役割を果たしております。

グローバル化、自動車の電動化、自動化と陸送事業は大きな変革期を迎えておりますが、社会ニーズを先取りしそれに順応したサービスを提供することで、一層の発展を遂げていきたいと考えております。

会員の皆様に自分たちが日本経済を支えているという誇りを持って頂けるよう、そして、日本の自動車産業発展に貢献できるよう、さらに一段高い取り組みを進め一丸となって努力をして参りましょう。

平成27年度の協会取り組み事項としては、歴史ある50年の活動施策を盤石に一層進化させていくことに尽きます。

まず、物流事業者としての最優先課題は交通事故、労働災害の防止です。

具体的には、「教育・認定制度」の充実と進化を遂げ、会員相互でのスキルアップをすることが重要です。積載車における不安全作業環境の改善はドライバーの安全確保、コンプライアンスの観点から非常に重要な位置づけであると認識をしております。

我々事業者の自覚はもちろんのこと、生産販売会社様のご理解も賜りながら今年度は、一歩踏み込んだ取り組みが必要であると考えております。

また、「陸送事業概況調査」につきましては頂いたデーターからの分析を諮り、トラック協会様や他産業様との

比較により強み弱みを掌握して参ります。そしてそれを会員皆様の経営指標に役立てて頂くと同時に、問題課題については関係省庁様、諸団体様へのご理解頂くことでドライバーの労働環境や条件の改善に繋げて参りたいと存じます。

次に、地域社会での安定した地位確立のためにはコンプライアンスが必須要件となります。先頃発刊となりましたコンプライアンス・ガイドブックは会員の皆様ご自身がセルフチェックツールとして活用して頂くことが出来ますので、今年度は運用状況を確認しながら、さらなるブラッシュアップを諮って参ります。

次に、地域社会の安心の提供です、企業で言うＣＳＲつまり社会的責任を協会と致しましても積極的に展開をし、あらゆる皆様のニーズに合致していきたいと考えております。交通安全、労働災害防止等の安全活動に加え地域社会への安心活動へも、注力をして参ります。

我々の使命はお客様が安心して仕事を任せられる企業体になることで御座います。

その為に、１５０００名のドライバー一人一人が営業マンで有ると考え、お客様お一人お一人に対して付加価値をいかに生み出せるかを考えることが必要であります。

日本全国を縦横に展開する毎日、何より安全に確実に商品をお届け、且つ地域社会の皆様からいかに存在意義を高く認めて頂けるか、それが陸送事業に対する期待感と、我々の誇りに繋がるものと考えております。

会員全員が安全、安心、そしてサービスへの志を高く持つと同時に、協会としても教育技術の進化に向けたカリキュラムを構築して参ります

これらの趣旨策を全うするためにはより一層本部、支部間、会員間の連携が必要となって参ります。本部事務局機能の強化と委員会組織を見直し強化し、協会組織を修練させていきたいと思いますので、会員皆様にはなにとぞ理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

本日の記念式典には、ご多忙の折多くの皆様にご臨席を賜りました。ここにこうして50周年を迎えることが出来ましたのも皆様のご支援の賜に相違御座いません。

只今より創立50周年記念映像をご覧頂きますが、大変懐かしい当時の映像を是非ご覧下さいませ、過去50年の歴史を踏まえ本日より新しい50年の歴史のページを刻むこととなる日本陸送協会は、協会に大方針である「経営の安定」「業界の地位向上」目指して活動をして参ります。

本日ここに改選されました新役員理事の方はもとより、会員企業の皆様と共に業界一丸となって自動車産業発展に貢献していく所存で御座います。

終わりにあたり会員企業皆様の益々のご繁栄と、ご支援を賜ります関係省庁様、諸団体様のさらなるご発展を心より祈念し私の挨拶とさせて頂きます。

ご静聴誠に有難うございました。

3．創立50周年記念ＤＶＤの上映

4．来賓祝辞

〈国土交通省　自動車局長　田端浩様の祝辞〉

本日は一般社団法人日本陸送協会の創立50周年記念式典にお招き頂きまして誠に有難うございます。貴協会及び本日お集まりの皆様方日頃より国土交通行政に御ご理解ご協力を賜り増して厚く御礼を申し上げたいと思います。

貴協会は昭和30年代のモータリゼーションの進展と共に、輸送需要と輸送体制のアンバランスが生じる状況から、陸送業界を秩序ある形に位置付けるために昭和40年６月に社団法人として設立・認可を受け現在までの50年の間陸送業の適正な運営及び公正な競争を確保と言うことによって、事業の健全な発展を促進された結果陸送業界の輸送秩序の確保、また安全の確保につきまして多大な貢献をして頂いているところであります。

陸送業はキャリアカーの車の積載に非常な高度の技術が必要である等、非常に神経を使う仕事環境でありまして、またその人材も優秀な技能者で有ることが求められます。近年人材確保が課題になっていると承知を致しております。

自動車局におきましては、この輸送を支える労働力の確保に対応していく為に昨年１月に局内に自動車運送事業等の人材の確保のプロジェクトチームを立上げ外部の有識者の意見を聞きながら検討を行い、昨年の７月対策を公表したところで御座います。

国土交通省と致しましても、業界の皆様方と連携を図り必要な施策に対して制度改正、あるいは支援を行って参りたいと思っております。

次に、回送運行許可制度では御座いますが、先程のビデオでも詳しくご紹介がありました。回送運行許可の有

効期間が、現在、法律で5年とされておりまして回送運送業者の使用する回送運行許可証及びナンバープレートは最長1年とされております。今般、回送運行事業者のさらなる事務負担の軽減、事業活動の円滑化の観点から、回送運行許可証の有効期間の延長及び許可証の返納の運用期間の延長を行う法律の改正案を、本国会に提出をする予定で御座います。

まだこの中身につきましては担当の方からご説明申し上げたいと思います。また、貴協会においては、陸送業に従事致しますドライバーや、運行管理者を対象と致しました「教育・認定制度」の推進を図り、交通事故防止や、作業事故防止に積極的に取り組んでおられます。こうした取り組みの結果これまで404名の運転手が認定を受けておられ、陸送業界の全体の安全の向上に寄与していると考えております。

国交省におきましても自動車運送事業の安全確保対策事業として、KSVやメディカル式運行記録計の導入支援等を行っておりますが、貴協会の「教育・認定制度」と相まってより一層の運送の安全確保が図られるように取り組みを進めて参りたいと思います。

最後になりますが、貴協会の国土交通行政に対し、引き続きのご理解とご支援を賜りますことをお願いしますとともに、会員各位の益々のご発展並びに本日お集まりの皆様方のご健勝とご多幸を祈念致しまして私のご挨拶とさせて頂きます。

本日は、誠におめでとう御座います。

〈一般社団法人 日本自動車工業会 常務理事 内藤政彦様の祝辞（内容は省略）〉

〈全日本自動車産業労働組合総連合会 会長 相原康伸様の祝辞（内容は省略）〉

5. 功労者表彰

〈永井会長より、協会本部役員として、当協会の発展に長年に亘り尽力を頂きました、2名の方を表彰。〉

・愛知車輌興業株式会社 会長
　石田　定雄　様
・株式会社 浜名ワークス 常勤監査役
　田村　慎一　様

〈当協会の支部の事務局長として、長年に亘り貢献された5名の事務局長を表彰。〉

・北海道支部　事務局長 松田 雅美 様
・北陸信越支部 事務局長 笹谷 吉之 様
・関東支部　事務局長 大沼 光廣 様
・近畿支部　事務局長 守屋 邦男 様
・中国支部　事務局長 川田 孝之 様

6. 記念講演

〈国土交通省 国土交通審議官 武藤浩様より、「国土交通行政について」の講演〉

日本陸送協会50周年本当におめでとう御座います。長い歴史を日本経済と歩まれたこと、今のDVDで大変よくわかりました。

また、永井会長を始め日本陸送協会の方々には常日頃国土交通行政へのご理解、ご支援を賜りまして本当に有難うございます。業界と寄り添って私共も仕事をして参りたいと思いますので、引き続きのご支援をよろしくお願いを致します。

引き続き、講演資料により30分間の説明がありました。

7. 閉会のことば

〈仁丹副会長より、閉会の挨拶〉

平成26年度 (一社)日本自動車工業会 (一社)日本陸送協会との合同研修会

日　時／平成27年1月15日（木）
場　所／ＪＲ貨物　隅田川駅
内　容／

①　鉄道輸送コンテナ情報管理について
・日本通運「鉄道コンテナＮＡＶＩ」について
・日本貨物鉄道「コンテナ情報管理システム」について

②現場視察
・日本貨物鉄道　隅田川駅

当日はみぞれ混じりの雨が降る中、陸送協会は佐々木会長を始め12名、自工会は19名の参加があり行われました。

開催にあたりＪＲ貨物営業部麦谷副部長の挨拶、その後自工会流通輸送部会・浅香副部会長より開会の挨拶がありました。

始めに、座学によるＪＲ貨物の情報管理システム・駅構内でのフォークリフトでの作業状況及びコンテナ作業状況の見学・日本通運による「鉄道コンテナＮＡＶＩ」についての説明が行われた後質疑応答の時間がもたれた。

最後に、佐々木会長より閉会の挨拶が行われ終了した。

支部だより

中部支部

「教育・認定制度」第4回運行管理者教育

1．日　時／平成27年1月26日（月）
　　10時～17時45分
2．場　所／愛知県産業労働センター
　　ウインクあいち
3．受講生／8名

受講生の感想

・点呼実技がとても為になった。ミーティングに危険予知をもっと反映していきたい。
・運行管理者としての業務の重大さを改めて感じることが出来て良かった。点呼は最後の砦と言われているように、今回の教育で学んだことを実行していきたい。
・他社の方とのグループワークで色々な意見が聞けて良かった。
・点呼について改めて大切さを知り、自分の点呼で足りない部分が見えました。

このほかにもたくさんの受講者の感想が寄せられていました。

陸送協会ニュース　●発行日　2015年3月　●編集・発行者　一般社団法人日本陸送協会事務局　東京都新宿区新宿1―11―15　電話03(3356)3977／7922

理事会だより

1月定例理事会

1．月　日　　平成27年1月22日（木）

2．会　場　　東京都トラック総合会館

3．議　題

（審議事項）

1．創立50周年記念ＤＶＤの視聴

2．平成26年度通常総会について

・平成26年度事業報告及び平成26年度決算報告について

・平成27年度事業計画（案）及び平成27年度収支予算（案）について

・役員の改選について

・相談役及び顧問の改選について

3．平成26年度通常総会及び創立50周年記念事業について

4．日本陸送協会の会員の入退会について

5．会費徴収規定の改正について

入退会情報

入　会

平成27年1月　㈱ホンダロジスティクス　輸送事業部　広島営業所

平成27年1月　㈱ホンダロジスティクス　九州営業所

平成27年1月　㈱ベストトランスポート　三重営業所

退　会

平成27年2月　㈱那須商会　川西事業所

平成27年2月　㈱那須商会　滋賀事業所

事務局日誌

経過報告

1／15　自動車工業会との合同研修会

1／22　１月定例理事会

1／26　中部支部「教育・認定制度」運行管理者教育

2／19　臨時理事会

2／19　通常総会

2／19　創立50周年記念式典・祝賀会

2／27　九州支部総会

今後の予定

3／2　四国支部総会

3／4　北海道支部総会

3／19　正副会長会議

4／10　「教育・認定制度」運行管理者トレーナー教育

4／22　関東支部総会

4／27　正副会長会議

4／27　４月臨時理事会

4／27　自動車総連との産業労使会議

再生紙使用